

2025.01.26 第27回 力のコーディネーター勉強会 9:00~13:00

スケジュール

09:00~09:05 開会の挨拶

09:05~10:35 筒井照子先生 基調講演

「態癥の大事さを日々、痛感しています」

10:35~10:55 筒井歯科・矯正歯科医院 井手花津希さん

「歯科助手として二年間筒井歯科医院に勤務して学んだこと
力のコーディネーターを目指して」

10:55~11:00 休憩

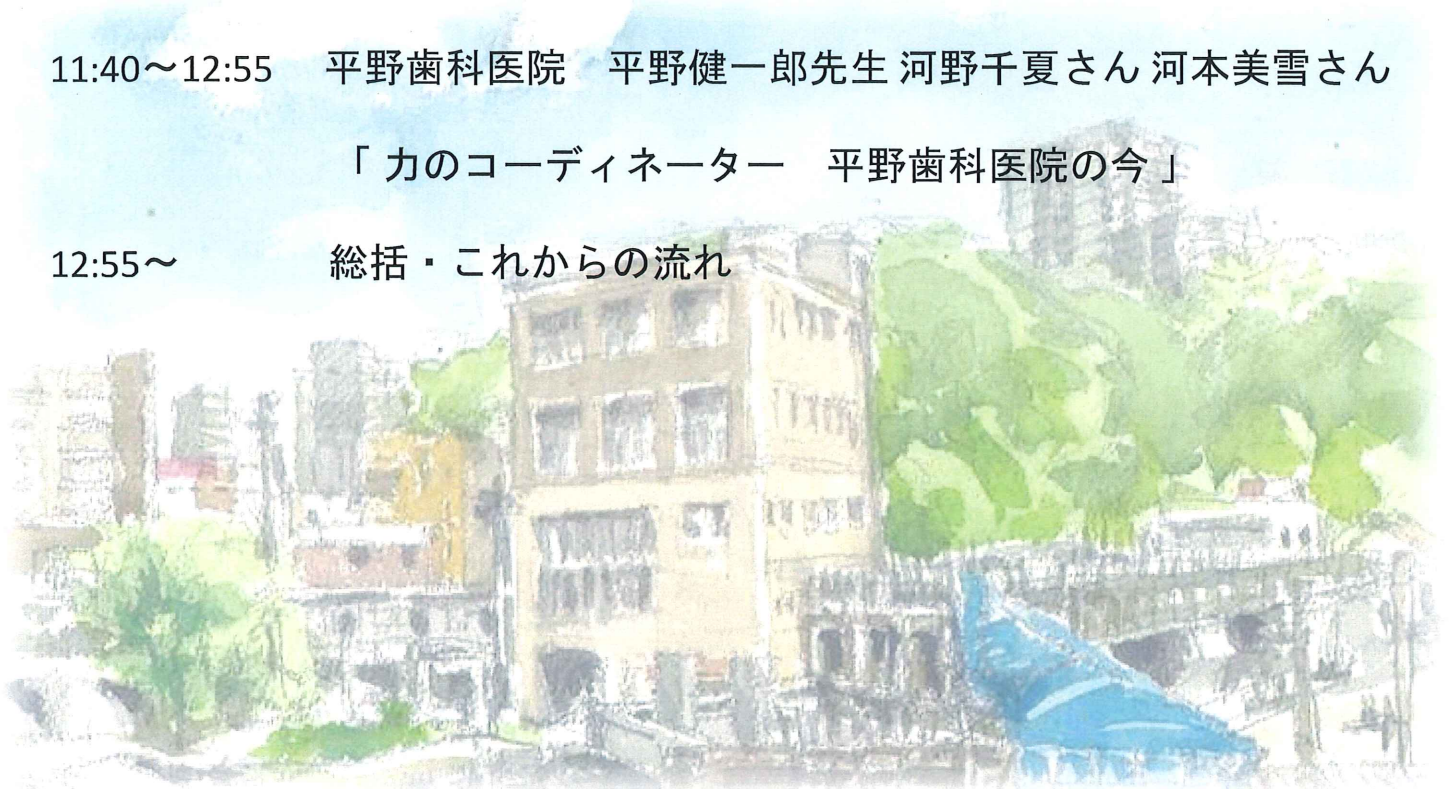
11:00~11:40 きらきら歯科医院 山口香奈美先生

「口腔機能低下症と小児口腔機能発達不全症指導に態癥指導を
取り入れる当医院の取組み」

11:40~12:55 平野歯科医院 平野健一郎先生 河野千夏さん 河本美雪さん

「力のコーディネーター 平野歯科医院の今」

12:55~ 総括・これからの流れ



「態癥の大事さを日々、痛感しています」

日々、出来るだけ治療しているが、

治らないこと、治ることを日々痛感し努力している。

患者さん側の生活習慣の意識によって、治らなかつたり、

驚くほど良くなってきたり。

しかし「よかれ」と思って注意して(勿論全て同じ思いですが…)

患者さんに嫌われたりします。

難しいですネ。



筒井歯科・矯正歯科医院
筒井照子

「歯科助手として2年間筒井歯科に勤務して学んだこと 力のコーディネーターを目指して」

未経験で歯科助手として筒井歯科医院に勤務しました。

その中で初めて顎関節症を知り、そしてそれは、日常生活に大きく関わることを知りました。

毎日多くの患者様と関わる中で治療をスムーズに行う為や、患者様に納得して治療を受けていただくために資料取りの大切さも知りました。

資料取りのポイント等交えつつお話したいと思います。

又、中々「態癥、力のコントロール」を理解して頂けなかった患者様で、資料を通して態癥指導の顎関節治療における重要性が理解して頂いた症例を発表させていただきます。



筒井歯科・矯正歯科医院
井手 花津希

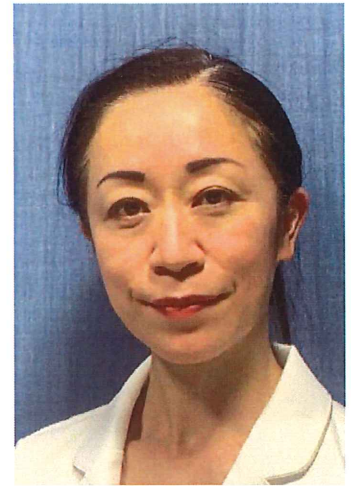


「口腔機能低下症と小児口腔機能発達不全症指導に 態癥指導を取り入れる当医院の取組み」

口腔機能低下症は「口腔の健康は全身の健康につながる」つまり、口腔のフレイルが全身のフレイルへと移行する傾向があるため、その予防と対策として取り入れられています。

また、小児口腔機能発達不全症は、小児の口腔機能発達は、その後の歯並びや口腔機能の発達に影響を起すだけでなく、正常に機能発達がうまくできていないことで、高齢期に至るときにさらに口腔機能低下を起しやすいため、乳幼児からの口腔機能対策が求められています。

当医院でもこの取組みは行っていますが、筒井照子先生がおっしゃるように、「全身のからだバランスが整わないと、口腔だけ機能訓練をしても意味がない」という認識で、口腔機能訓練前に必ず態癥指導とその必要性を説明しています。今回は初診からその必要性の説明・検査・指導までの流れを解説し、症例を交えながら当院の口腔機能管理システムを紹介させていただきます。



きらきら歯科医院
山口 香奈美

「力のコーディネーター 平野歯科医院の今」

診療室から女性スタッフと患者さんとの話し声や笑い声がよく聞こえてきます。

そんな空気を患者さんにもとても気に入ってもらってるようです。

今回は歯科衛生士2名が症例発表をし、私は院長として日ごろ感じていることなどを聞いていただければと思っています。

その意味で、プレゼンとディスカッション等とは別の視点から、歯科衛生士・歯科助手としての仕事をもっと生き生きと楽しめるようなものになるには、何がどうあることが望まれるのだろうか、といったことについて考えてみるのも今回の目的です。

開業地や年齢など、医院を取り巻く条件はさまざま、一様に語ることが出来ないの言うまでもありませんが、この個別性の中でもひとつの気付き、ひとつの願いをカタチにすることの積み重ねで、ホンのちょっとずつでも幸せに近づくことが出来ないはずないと思うのです。



平野歯科医院
平野 健一郎
河野 千夏・河本 美雪